

発刊にあたって

本市は、緑豊かな自然環境と首都近郊という立地条件のもと、昭和42年の市制施行以来、快適さと豊かさをめざして着実に歩み続けてまいりました。これまで市勢の発展にご尽力をいただいた先人・先輩をはじめ、市民の皆さまに感謝申し上げます。

現在、我が国は、急速な少子・高齢化の進行やグローバル化・高度情報化の進展、地球規模での環境問題の顕在化など、めまぐるしい変化を見せています。

こうした中、市民生活に最も身近な基礎自治体として、社会経済情勢や価値観の多様化に伴う市民ニーズの変化を的確にとらえつつ、持続可能な行政経営に努めていかなければならないと考えております。

「夢は語るものではなく、実現するもの。」

私は、この言葉を心に刻み、これまで、八千代市の現実と向かい合い、総合的見地に立って、各種事業を展開してまいりました。

平成23年度からスタートする、この八千代市第4次総合計画は、平成32年度までの10年間で展望する長期の計画として、これから「何ができるか」を記したものであり、「誇りと愛着」「共生と自立」「安心と安全」を基本理念に、将来都市像を「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市 八千代」と決めました。

この将来都市像を実現していくためには、市民の誰もが、主体的にまちづくりに参画し、愛着を持って住み続けたいと思える、アメニティに富んだまちづくりが重要です。

このため、「市民と行政の共生」「コミュニティ活動の促進」「新しい公共の構築」の観点から、市民主体による自立的な行政経営を基本に、一人ひとりの市民が人間として尊重されるまちづくりを進めてまいります。

市民の誰もが住んでいてよかったと実感できるまちの実現に向け、計画推進に全力を注ぐ所存でございますので、今後とも市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、この計画の策定にあたり、市民意識調査や各種フォーラム、パブリックコメントなどを通してまちづくりへの貴重なご意見、ご提言をいただきました多くの市民の皆さまをはじめ、市議会議員並びに総合計画審議会委員の皆さまに対しまして心より御礼申し上げます。



平成23年3月

八千代市長

豊田俊郎